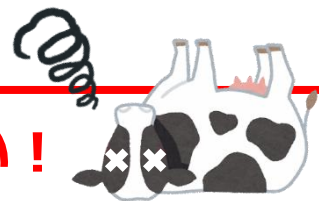


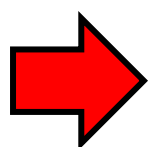
サルモネラ症にご注意を！

中部管内でサルモネラダブリンによる牛サルモネラ症が流行しています
感染防止のため、車両、長靴の消毒や野生動物対策をお願いします

サルモネラダブリンについて



- 病原性が強く、子牛で重篤化、死に至りやすい！
- 主症状：子牛では発熱、敗血症、肺炎、成牛では流死産
※一般的なサルモネラと異なり、下痢を示さないことがある！
- 感染経路：哺乳器具や流産胎子などを介して感染拡大
➡器具のこまめな洗浄・消毒、流産胎子の取扱い注意
- 消毒：逆性石鹼（パコマ、クリアキル）、ビルコンなど
- 治療：現在の流行株にはカナマイシンが有効
※薬剤感受性試験を実施することをおすすめします



子牛の死亡が頻発している場合は、
家保にご相談ください



サルモネラ対策

1. 運搬車両の消毒
2. 手指・靴底消毒
3. 導入子牛の健康観察
4. ハエ・ネズミ・その他の野生動物侵入防止対策



ご不明な点やお問い合わせは各家畜保健衛生所へご連絡ください
倉吉家畜保健衛生所 Tel：0858-26-3341